

いまもあしたも誇れる座間であるために…

発行者：おぎはら健司後援会
 発行元：座間市相模が丘3-24-2-203
 連絡先：046-204-5911（ファックスも同じ）

おぎはら健司の市政レポート

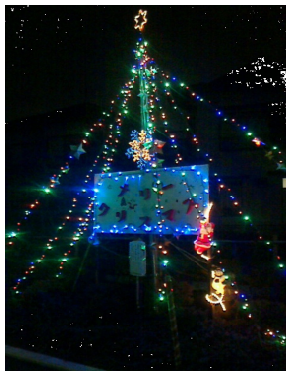
平成25年第四回定例会

11月28日に開会した今年最後の定例会も、今日・明日の常任委員会と特別委員会、最終日の本会議を残すのみとなりました。

私は、常任委員会は都市部と環境経済部を所管する都市環境常任委員会に所属し、他に基地対策特別委員会にも所属しております。

常任委員会は本日9時から始まりますが、今定例会に上程されている補正予算の所管では、南林間駅から市役所の北側を通過して谷戸山公園脇を通過する市道4号線の用地買収について難航している部分に、当初予算として計上されていた金額を相武台前駅南口の道路整備へと振り替える補正予算が計上されている他に主だった案件がないため、所管事務調査として相模が丘仲よし小道（通称・さくら道）の視察を行う予定になりました。

仲よし小道の工事は、四年かけて完成する予定の第三工区の工事が順調に進められており、平成27年3月の全工区完了に向け、課題等が発生すれば完成が遅れてしまいますから、委員6名で視察を行います。



話は逸れますが、仲よし小道の中間地点付近にイルミネーションを施したクリスマスツリーがあるのはご存知でしょうか？今年から始められたイベントですが、一足早くLED化され明るくなった仲よし小道の中であって、ひととき明るく癒される空間になっていますので、まだご覧になられて

いない方はぜひ一度ご覧になって下さい♪

また、既報の通り12月6日のラストバッテリーとして午後4時過ぎから「広報戦略について」という内容で一般質問を行いました。

詳細は座間市のHPでご確認いただけますが、掻い摘んで説明いたしますと、座間市の広報は大きく分けて「広報さま」と「ホームページ」に分けられますが、広報さまについて言えば事務的（一方的）に『伝える』だけの内容になりがちであり、相互理解が得られるよう『伝わる』内容にすべきという事。

また、ホームページについては、平成26年元日に全面リニューアルが予定されていますが、インターネットを利用する方法がパソコンからよりもスマホを始めとする携帯端末からの需要が多くなっている点について、携帯端末からも見やすいページ作りが必要であり、そうした配慮をする必要性や、ひまわりの町づくりについてイメージが定着してきているので、そうした情報を迅速かつ性格に発信するための工夫をして欲しいという点や、新聞等のメディアで座間市の施策や事業が取り扱われる機会が少なく感じるがメディア対応を戦略的に行う事により、座間市の魅力を市外の皆さんにも効率的に伝える事が出来るので、専門広報官等の配置をすべきだ、との提案を致しました。



いずれにしても自治体の広報は受け身になりがちですので、攻めの広報を戦略的に展開すべき点について、市長の一定以上の理解を得る事が出来ました。

甘利大臣のご様子について…

報道等でご存知の方も多いと思いますが、私が12年間秘書を務めた甘利明経済再生大臣が、舌がん治療のため入院をされております。

甘利大臣は昭和58年12月18日投票の「田中判決解散」と言われる総選挙で初当選を果たされ、来週で議員生活30年を迎えられます。

病気の状況について後輩の秘書から話を伺ったところ、当初は口内炎との診断をされていたそうですがなかなか治癒しないので、CTやMRIといった精密検査をされたそうですが、それでも異常が確認できず、最終的に細胞の病理検査をした結果がん細胞が確認されたとの事。

報道の通り、ごくごく初期のものとの事であり、切除手術を行えば公務に影響は残らず、年明けには復帰出来そう、との事でした。

経済再生に始まり、TPP交渉や税・社会保して障一体改革といった安倍内閣の重要政策を担当する大臣として、まずは病気を克服され、その実力を更に発揮して頂きたいと思います。